

単元名	ダンス(フォークダンス, 創作ダンス, 現代的なリズムのダンス)	配当時間	9 時間
単元の目標	(1) 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、関連して高まる体力を理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすることができる。 (2) 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 (3) ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助したり、交流などの話し合いに参加したり、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めたり、健康・安全に気を配ったりしようとする		

①フォークダンスと創作ダンスの展開例

13300123_001

【準備等】CDラジカセ、CD、小道具（新聞紙、布、ゴムなど）、学習資料、学習カード、鑑賞カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ダンスの特性を知り、学習の見通しをもつ。 ★ダンスの特性を知ろう。</p> <p>○ダンスの特性や成り立ちを知る。</p> <p>○学習のねらいや進め方を知る。 ○学習カードや学習資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方を知る。</p> <p>○音楽のリズムに合わせてダンスウォームアップをする。</p> <p>2～3 フォークダンスをする。 ★伝承されてきた踊りの特徴をとらえて踊ろう。 ○ダンスウォームアップをする。 ○既習のダンスを踊る。 ＜民謡＞ ・阿波踊り ・ソーラン節 ・エイサー ＜フォークダンス＞ ・マイム・マイム ・コロブチカ ・グスタフス・スコール ○民謡やフォークダンスを大づかみに覚えて踊る。 ＜民謡＞ ・花笠音頭 ・春駒 ・炭坑節 ・鹿児島おはら節 ＜フォークダンス＞ ・オクラホマ・ミクサー ・バージニア・リール ・ドードレブスカ・ポルカ ○民謡やフォークダンスの難しい踊り方を取り出して踊る ・全体練習 ・グループ練習</p> <p>○みんなで踊り、交流をする。</p> <p>4～5 いろいろな題材による即興表現をする。 ★テーマに合わせて、全身を使って表現しよう。 ○ダンスウォームアップをする。 ○与えられたテーマに合わせて即興的に表現する。 ・ガム ・風船 ・ボール</p> <p>○小グループで即興表現をする。 ・じゃんけん ・風に揺れる木 ・花と蝶</p> <p>○活動を振り返り、まとめをする。</p> <p>6～8 グループで作品を創作する。</p>	<p>・イメージを捉えた表現や踊りでの交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにする運動であることを知らせる。 ・ダンスの特性や成り立ちを説明する。 ・技術の名称や行い方、関連して高まる体力については、単元を通して理解できるようにする。</p> <p>・感じたことを個性に応じて表現することになるので、正しい鑑賞態度と、恥ずかしがらずに全身を使って表現することが大切であることを知らせる。 ・曲を流し、毎時間の授業の始めにウォーミングアップとして行わせる。</p> <p>・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。 【評】ダンスを踊る姿を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・資料やVTRなどで踊りを紹介し、日本や外国の風土や風習、歴史などの踊りの由来を理解させる。 ・始めは、民謡やフォークダンスそれぞれの曲調や踊りの特徴を感じ、大づかみに覚えて踊るようにさせる。 ・難しいステップや動き方を取り出して練習させる。 ・全体指導した後は、小グループに分かれ、教え合いながら練習させる。 ・仲間のよい動きや表現などを指摘し合うよう指示する。 【評】みんなで踊り、交流する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。 ・BGMを流し、リズムに乗りながら即興表現をさせる。 ・動きが思いつかない場合は、仲間の動きをまねるように指示をする。 ・2人組、3人組などの小グループで活動させる。 ・毎時間異なるテーマで、グループは固定せず多くの仲間とかかわることができるようにする。 ・テーマからイメージを広げ、動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化を付けたりして、ひと流れの動きで表現させる。 【評】即興表現をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・学習カードに記入させる。 【評】振り返りの活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

★テーマを決めて作品を作ろう。

- ダンスウォームアップをする。
- 多様なテーマの中から題材を選ぶ。
 - ＜身近な生活や日常動作＞
 - ・スポーツいろいろ
 - ・働く人々
 - ＜対極の動きの連続＞
 - ・走る－跳ぶ－転がる
 - ・走る－止まる
 - ・伸びる－縮む
 - ＜多様な感じ＞
 - ・激しい
 - ・急変する
 - ・軽快な
 - ・やわらかい
 - ・鋭い
 - ＜群（集団）の動き＞
 - ・集まる－とび散る
 - ・磁石
 - ・エネルギー
 - ・対決
 - ＜もの（小道具）を使う＞
 - ・新聞紙
 - ・布
 - ・ゴム
- 題材からイメージを出し合う。

- イメージに合った動きを創作する。
 - ・スローモーション
 - ・ダイナミックな動き
 - ・緩急や強弱
 - ・変化やめりはり
 - ・密集や分散
- ダンスの構成を考え、練習する。

9 発表会をする。

★大きく美しい表現で作品を発表しよう。

- ダンスウォームアップをする。
- 鑑賞の観点を知る。

- グループで練習する。
- 作品を発表する。

- 感想を発表し合う。

- ・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。
- ・1グループ3～5人とする。

- ・ブレインストーミングを行い、言葉に表すことでイメージを広げさせる。
 - ・体を動かしながら、いろいろな動きを創作させる。
- 【評】動きを創作する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・テーマにふさわしい変化と起伏や場の使い方、
「はじめ－なか－おわり」の構成で表現して踊るよう伝える。
- 【評】構成を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

- ・軽快な音楽に合わせて心と体をほぐす。
 - ・鑑賞カードを使用し、鑑賞を行うことを知らせる。
 - ・表現したいことが分かる、動きの工夫がされている、作品の構成がよい、気持ちを合わせているなど、鑑賞の観点を押さえておく。
 - ・自分たちで創作した作品の動きを確認する。
- 【評】発表する姿を通して、「知識・技能」を評価する。
- 【評】感想を発表し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- 【評】単元全体の活動や発表会で評価し合う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

- (1) ダンスは、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。ここでは、イメージを捉えたり深めたりする表現、伝承されてきた踊り、リズムに乗って全身で踊ることや、これらの踊りを通じた交流や発表ができるようにする。
 - (2) 標準的な展開例として、①フォークダンスと創作ダンス②フォークダンスと現代的なリズムのダンスの2つを示した。2つの展開例のうち、1つを選択して履修することを基本とする。
- 創作ダンスの多様なテーマと題材や動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P. 171参照
日本の民謡、外国のフォークダンスの踊りと動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P. 172～P. 173参照
現代的なリズムのダンスのリズムと動きの例示…中学校学習指導要領解説（保健体育編）P. 174参照